

国民年金特別会計国民年金勘定 平成18年度特別会計連結財務書類の概要

特別会計連結財務書類について

- 作成目的
国民年金特別会計国民年金勘定の業務と関連する独立行政法人を連結した財務状況を開示。
- 作成方法
「省庁別財務書類の作成基準」に基づき作成（特別会計財務書類と独立行政法人を合算し、国民年金特別会計国民年金勘定と独立行政法人の債権債務等を相殺消去）。
- 連結の範囲等
(連結対象法人)
独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構 国民年金勘定
(連結対象法人と国民年金勘定の業務関連性)
年金福祉施設等の譲渡又は廃止等の業務を行うことにより、年金福祉施設の整理を図り、国民年金事業の財政運営に資することによる
(連結の基準)
国民年金勘定が所掌している業務と関連する事務・事業を行っている独立行政法人等を連結（監督権限及び財政支出の有無により判断）。
(使用財務諸表)
連結対象法人の財務諸表をもって連結。
- 省庁別連結財務書類の留意点
・ 連結に際して、連結対象法人の会計処理を、省庁別財務書類の会計処理に統一していない。
・ 連結対象法人に特有の会計処理については、連結に際して修正を行っている。

貸借対照表

(単位:十億円)

特別会計	連結	差額	特別会計	連結	差額		
< 資産の部 >			< 負債の部 >				
現金・預金	2,935	2,939	4	未払金等	961	961	0
運用寄託金	5,814	5,814	-	賞与引当金	-	0	0
未収金等	2,905	2,905	0	公的年金預り金	9,621	9,621	-
貸倒引当金	△1,305	△1,305	-	退職給付引当金	-	0	0
有形固定資産	18	18	0	その他の負債	-	0	0
土地	8	8	-				
建物	7	7	0				
その他	2	2	0				
無形固定資産	-	0	0				
出資金	234	201	△32				
その他の資産	-	28	28				
				負債合計	10,583	10,583	0
				< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	18	18	-
資産合計	10,601	10,602	0	負債及び資産・負債差額合計	10,601	10,602	0

業務費用計算書

(単位:十億円)

特別会計	連結	差額	
人件費	0	0	
退職給付引当金等繰入額	0	0	
その他の社会保障費	1,793	1,793	
減価償却費	1	1	
貸倒引当金繰入額等	858	858	
資産処分損益	0	0	
出資金等評価損	3	-	△3
その他の業務費用	4,273	4,277	4
本年度業務費用合計	6,929	6,930	1

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

特別会計	連結	差額	
前年度末資産・負債差額	21	20	△0
本年度業務費用合計 (A)	△6,929	△6,930	△1
財源合計 (B)	6,431	6,435	4
資産評価差額等	9	6	△2
公的年金預り金の変動に伴う増減	485	485	-
本年度末資産・負債差額	18	18	-
(参考) (A) + (B)	△498	△494	3

区分別収支計算書

(単位:十億円)

特別会計	連結	差額	
業務収支	△119	△115	4
財源	5,916	5,920	4
業務支出	△6,035	△6,036	△0
財務収支	-	-	-
本年度収支 (業務収支+財務収支)	△119	△115	4
資金への繰入等	-	-	-
資金残高等	8,766	8,766	-
本年度末現金・預金残高	2,935	2,939	4

特別会計との主な相違

(注)特別会計は、特別会計財務書類(国民年金勘定)を指す。

- 貸借対照表
(資産)
出資金…相殺消去 △327 億円
その他の資産…
(独)年金・健康保険福祉施設整理機構 +287 億円
- 業務費用計算書
出資金等評価損…相殺消去 △39 億円
その他の業務費用…
(独)年金・健康保険福祉施設整理機構 +48 億円
- 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額 +33 億円
(左記(A)+(B)により算出)
⇒企業会計の「当期純利益」に相当
業務費用… 連結による減 △49 億円
相殺消去 +39 億円
財源… 連結による増 +43 億円
- 区分別収支計算書
財源… 連結による増 +44 億円
業務支出… 連結による減 △2 億円